

# じどうしつだより No. 83 (2013. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p><b>『かえるのオムライス』</b></p> <p>マットかずこぶん・え 絵本塾出版 2012.11</p> <p>1110553799</p>	<p>おとこのこたちのばんごはんがオムライスだと知った3びきのかえるたち。「ぼくたちもたべにいくぞ」とおとこのこの家に入りますが、食べ終わったあと。つぎのひ、オムライスを作ることにした3びきは、おこめやにわたりのたまごを手に入れようとしますが、うまくいきません。そこで、かえるのオムライスを作ればいいと思いつき、3びきの大好きなものをつかって作ることにしました。</p>
<p><b>『さかさんぼの日』</b></p> <p>ルース・クラウス作 マーク・シーモント絵 三原泉訳 偕成社 2012.11</p> <p>1110543783</p>	<p>あるあさ、おとこのこはベッドから出ると、おもしろいことをおもいつきました。「きょうは“さかさんぼの日”にしようっと」。おとこのこは、コートの上えにズボンとうわぎ、そのうえにパンツとシャツをきました。そして、靴の上に靴下をはいて、うしろ向きに部屋を出て…。あさごはんをたべるときも、あいさつをするときも、ぜんぶさかさんぼ。</p>
<p><b>『まいごのワンちゃん あずかっています』</b></p> <p>アダム・ストーワー作 ふしみみさを訳 小学館 2012.11</p> <p>1110553681</p>	<p>あるあさ、リリーは、庭にとびきりすてきなものをみつけました。おおきくて、ちゃいろくて、もこもこしていて、リリーがずっとほしがっていた「ワンちゃん」でした。リリーが飼いたいとママに言うと、飼い主がしんばいしているからだめと言われてしまいました。あるくのがきらい、ドッグフードも食べない、芸もできないへんなワンちゃんだけれど、だいすきになったリリー。飼い主がみつからないようにといのりますが…。</p>
<p><b>『おにいちゃんの歌は、 せかいいち！』</b></p> <p>ウルフ・ニルソン文 エヴァ・エリクソン絵 菱木晃子訳 あすなろ書房 2012.11</p> <p>1110543738</p>	<p>春の学芸会でモグラの役をやることになったぼく。セリフは、おしまいのことばのひとことだけ。でも、そのひとことがなかなか言えない。家では、おとうとに歌をうたってあげて、おとうとも「おにいちゃんの歌はせかいいち」って言ってくれるけど、みんなの前でなにかをするのはいやなんだ。当日、出番が近づいて、ぼくは舞台から逃げ出そうとするけれど…。</p>
<p><b>『チョコレート屋のねこ』</b></p> <p>スー・ステイントン文 アン・モーティマー絵 中川千尋訳 ほるぷ出版 2013.1</p> <p>1110581659</p>	<p>小さな村のチョコレート屋に、決してわらわれないきむずかしいおじいさんとねこがすんでいました。あるひ、ねこがおじいさんの作ったチョコレートねずみをかじってみると、そのおいしいこと！ねこはそのおいしさを伝えようと、近所のお店の人たちに、そのチョコレートを食べてもらいました。すると、お店の人たちは、チョコレートの新作を次々とうみだしました。チョコレートねずみに特別な力があると気づいたねこは…。</p>
<p><b>『泥かぶら』</b></p> <p>眞山美保原作 くすのきしげのり文 瑞雲舎 2012.9</p> <p>1110572257</p>	<p>むかしある村に、泥かぶらと呼ばれる女の子がいました。身寄りがなく、村人から「みにくい」「きたない」とののしられ、ばかにされていました。そのたびに、人をうらみ、らんぼうになっていきましたが、ある日、旅の老人に初められて、きれいになりたいという心の内をはきだしました。すると老人は、美しくなるための3つの心がけを教えてくださいました。</p>